

(千種区 18.18Km²)

統計なごやweb版 <http://www.city.nagoya.jp/shisei/category/67-5-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

令和元年千種区の人口動向の概況

新年度となり、身の回りで転入・転出があった方も多いと思います。そこで今回は千種区の人口動向を考える上で重要な人口増減の内訳を見ていきたいと思います。

令和2年10月現在の千種区の人口数は、前年同月比10人減少の165,853人となっており、名古屋市16区のうち4番目の人口規模です。図1の人口増減数を見てみると、千種区の人口は平成11年から平成30年まで増加しています。社会増減数（転入数－転出数）は、平成8年度以降人口増減数の変化にほぼ対応して変化しています。一方、自然増減数（出生数－死亡数）は年々減少しており、ここ3年は200人以上減少しています。千種区の人口増減数の変化は社会増減数の変化に大きく依存していると考えられます。そこで、社会増減数およびこれを左右する転入数・転出数について見ていきます。

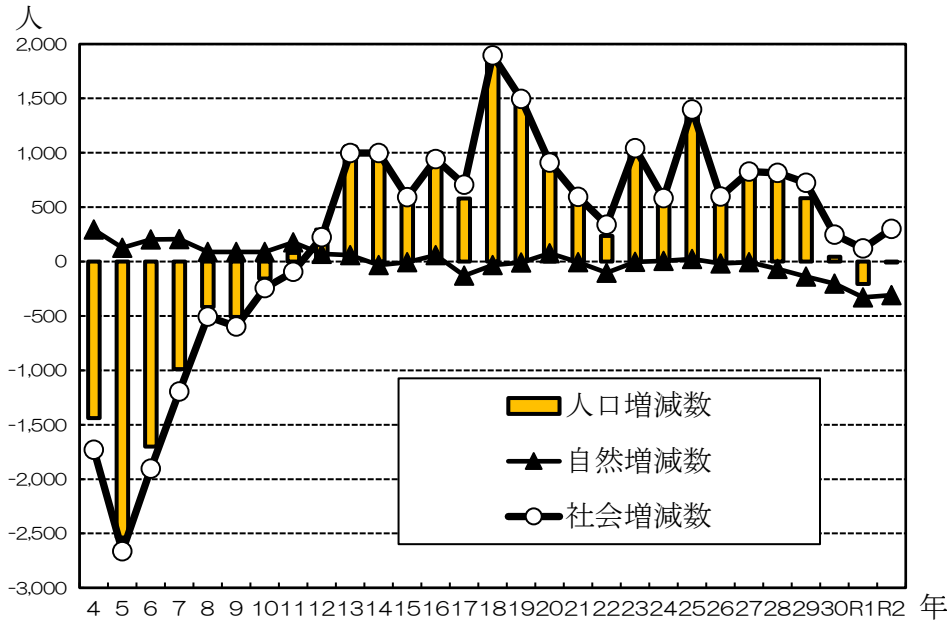


図1: 千種区の人口増減数、自然増減数および社会増減数の推移
(各年前年10月～当年9月)

令和元年10月から令和2年9月までの千種区の社会増減数は300人の増加となっており（図2）、名古屋市16区の中で10番目となっています。自然増減数は前年比で310人減少しています。また、社会増減数は平成12年以降転入超過を維持しています。

また、人口移動数（転入数＋転出数）は26,364人で、中区に次いで16区中2番目となっています。

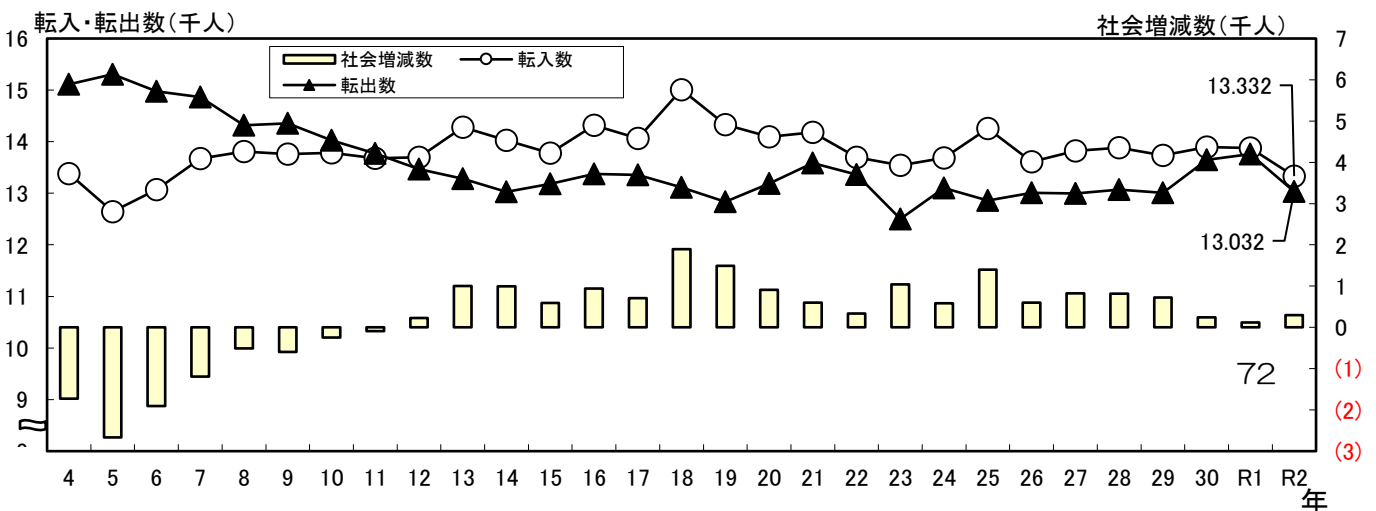


図2: 千種区の平成元年以降の社会増減数、転入数および転出数の推移（各年前年10月～当年9月）